

2023イベントカレンダー



※予定は変更になる場合があります。

- ・ 5月下旬頃 ごみゼロフリーマーケット in リサイクルセンター広場
- ・ 8月上旬頃 わくわくバックヤードツアー in リサイクルセンター
- ・ 9月上旬～中旬頃 こだいら環境フェスティバル in 中央公園
- ・ 11月下旬頃 最終処分場バスツアー in 日の出町
- ・ その他(時期未定) リサイクルきゃらばん(年4回程度)

各種講習会 「ダンボールコンポスト講習会」
「不要になった傘で作るマイバッグ講習会」
「廃油から作るせっけん講習会」 など



バックヤードツアー 環境フェスティバル バスツアー リサイクルきゃらばん 講習会

雨が降ってもリサイクル

資源ごみの日に雨。さて、雨の日に出して濡れても大丈夫なのはどれでしょう？

①雑誌・本・お菓子の箱などの雑がみ

②新聞紙 ③段ボール ④古着・古布

答えは①～③。雑誌や新聞紙はごみ処理の工程上、一度溶かして再生しているの濡れても問題ありません。雨の日は止め、降らない日にまとめて新聞や雑がみを出すと、収集量が多くなってかえって大変なのだそうです。大雨でないかぎりいつもの場所に出しましょう。

一方、④の古着や古布はビニール袋に入れて濡れないように出しても、湿気でカビたりするので、燃やすごみとして処理されています。もったいない。

今回お話を伺った東多摩再資源化事業協同組合。今、困っているのは、段ボール箱や紙袋の中に①～③、牛乳パックが混じっているもの。それぞれの古紙は再資源化する工程も用途も違うので、分けなければ資源とはなりません。牛乳パックや段ボールはそれだけでまとめましょう。

雑がみは紙袋に入れば値札ほどの小さい紙でも再生させることができます。

レッツ・リサイクル!



収集作業員さんから



『日によって収集する時間が前後する場合がありますが、朝8時までにごみは出してください』

『分別ルールやごみ出しの日など、わからないことがありましたら、収集員へ気軽に声を掛けてください』

『雨の日でも、いつもと同じ場所に出すようにして下さい。排出場所が変わってしまうと、収集員が気づかない場合、取り残しの原因になってしまいます』

『使用済みのスプレー缶、ガスボンベは燃やさないごみではなく、【有害性資源】の日に出してください。燃やさないごみの袋に入れてしまうと、収集車の火災に繋がる場合があります』

『最近では充電式の電池が原因での収集車の火災もあります。』

通常のごみ収集には出さず、拠点回収のボックス(中面参照)へ入れてください。』



できることからコツコツと

グリーンこだいら

第2号

令和5年3月発行

【発行】

環境部資源循環課

【編集】

小平市廃棄物減量等

推進員(クリーン

メイトこだいら)

【連絡先】

環境部資源循環課

☎(042)346-9535

令和4年5月28日(土曜)

リサイクルセンター広場で

ごみゼロフリーマーケットを開催しました!



3年ぶりの開催は新しくオープンした「リサイクルセンター広場」で

新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催となった今回、天候にも恵まれ、コロナ禍前の本イベントと同程度の来場者数となりました。

メインのフリーマーケットは、広場の真ん中にある原っぱで行われ、多くの人で賑わっていました。

また、フリーマーケット会場を囲むように配置されたテントでは、福祉作業所による物品販売や、環境団体による啓発活動が行われ、来場者が様々な環境問題に触れ合う場となっていました。

今後も、毎年5月30日「ごみゼロの日」に近い5月下旬頃にリサイクルセンター広場で開催される予定です。



来場者シールアンケート



堆肥配布

小平産野菜販売



環境団体による啓発活動



福祉作業所による物品販売